

各 位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会  
杵島農業改良普及センター

「稲作情報（第3号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「稲作情報（第3号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。この情報はホームページ（以下URL）にも随時公開しています  
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00323270/index.html>

杵島農業改良普及センター

検索

1. 気象概況

アメダス観測値（白石）

月	半月	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R3 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R3 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R3 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R3 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R3 (hr)	平年比 (%)
5月	1	17.4	15.6	-1.8	23.5	21.1	-2.4	11.8	9.2	-2.6	31.5	28.0	89	29.6	33.8	114
	2	18.1	19.3	1.2	24.2	24.8	0.6	12.6	13.4	0.8	33.3	2.0	6	29.7	39.5	133
	3	18.5	20.9	2.4	24.7	24.4	-0.3	13.0	17.9	4.9	33.4	78.5	235	30.0	6.2	21
	4	18.9	21.7	2.8	25.1	25.3	0.2	13.4	18.7	5.3	28.9	118.5	410	30.2	7.2	24
	5	19.6			25.9			14.1			23.1			31.0		
	6	20.5			26.8			15.1			26.8			37.6		

○5月4半月の平均気温は、平年に比べて2～3℃ほど高く推移した。また、断続的な降雨により寡照傾向となった。

≪福岡管区気象台の1か月天気予報（5月20日発表）（予報期間 5月22日から6月21日まで）

低気圧や前線の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は多く、日照時間は少ないでしょう。

向こう1か月の気温は、ほぼ平年並の見込みです。

2. 水稻情報田の生育状況（調査日：5月23日）

項目 品種	年次	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	主稈 出葉数L	葉色 SPAD	概要
コシヒカリ	本年値	54.5	514	10.0	42.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>草丈は平年に比べ高く茎数は平年並み。</li> <li>主稈出葉数は平年並み。</li> <li>葉色は薄い。</li> <li>現在8号分けつが発生。</li> </ul>
	平年値	42.5	520	10.0	44.0	
	平年比(差)	128	99	0.0	-1.3	

※ 平年値は、H21～R2年度の平均値、耕種概要は稲作情報NO1参照

（管内の生育状況）

○現在、分けつ発生盛期である。有効茎を確保し、中干しの時期となっている。

まもなく穂首分化期前をむかえる。

3. 今後の管理（七タコシヒカリ）

（1）水管理

○現在、中干しの時期である。

本年は、初期分けつ確保が順調でしたので大半の圃場では、1株あたり20本茎数を確保している。

今後、断続的な降雨により中干し作業が遅れないように注意する。

○中干しの実施時期の目安

→総葉数の7割～8割の葉が出た時の間、10葉期頃を中心に行う。

止葉までの葉数の69%～77%の葉が出た時期であり、七タコシヒカリでは9葉～10葉期にあたり、現在(5/24時点)がその生育ステージにあたる。ほぼ有効分けつ決定期(株当たり小さい分けつまで20本)～穂首分化期(穂の基が茎の中で出来る時)である。

また、開始時期の目安は、移植時期によって異なるが、有効茎(1株あたり20本程度の分けつ)が確保でき、株が開張しておおむね草丈が35～50cmを目途に実施する。

○中干しの期間と程度(強弱)

中干し期間は、天候や土壌の種類、漏水の程度などによってちがってくるが、おおむね5～7日とする。

圃場の硬さの目安は軽く足跡が付く程度で、小さなヒビが入るくらいとする。

つまり「歩いて足跡が付くが抵抗なく歩ける硬さ」が理想である。

また、手のひらが縦にはいるようなヒビ(強い中干し)は、強い断根を伴い稲にとってダメージが大きくなる。

(2) 病害虫防除

○補植用の『置き苗』は、葉いもち病の発生源になるため、すぐに除去する。

○本年は、平年に比べ20日早い梅雨入りとなり、梅雨前線に伴い海外飛来性害虫であるウンカ類が確認されている。なお、5月11日から情報田等の払落し調査等ではウンカ類は確認されていない。現在、防除等は必要ないが、今後の発生状況に留意する。

《参考》海外飛来性害虫(トビイロウンカ・セジロウンカ)誘殺状況 県農業技術防除センター防除部HPより

	トビイロウンカ					セジロウンカ				
	佐賀県			長崎県		佐賀県			長崎県	
	佐賀市	佐賀市	嬉野	諫早		佐賀市	佐賀市	嬉野	諫早	
	ネット	ライト	ライト	ライト	ネット	ネット	ライト	ライト	ライト	ネット
5/11	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
5/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5/15	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
5/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5/18					0					0
5/19					0					0
5/20										

○今後、長梅雨が続くことで「いもち病」や「ウンカ類」の多発生が6月末以降予想される。

※「七タコシヒカリ」は県特別栽培農産物に応じた栽培を取組んでおり、農薬成分回数9成分を超えないような栽培管理が重要である。

そのためにも、まずは病害虫が発生しにくい環境づくりのための耕種的防除(置き苗除去、過剰分けつ抑制のための適切な水管理、畦畔除草管理等)を行う。